

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2020/11/25 ~ 2021/02/05		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200587010502	科目番号 / Course code	05870105
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12711_005		
授業科目名 / Course title	a2国際社会と日本経済 / International Societies and Japanese Economy		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	工藤 健 / Kudo Takeshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	工藤 健 / Kudo Takeshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	工藤 健 / Kudo Takeshi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多・教・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tkudo nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部 (片淵キャンパス) 本館5階521研究室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6369		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日16:00 - 17:30 (教室が控え室で受付), E-mailおよびLACS科目掲示板で質問を適宜受付。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	近代以降、国際貿易をめぐる国内外の対立が繰り返されてきている。この授業では、経済学の視点からこの問題に焦点を当てて、分析と議論を通じてこの問題の背景と本質を理解する。この科目は、「全学モジュールII科目」の「多様性と共生：現代経済と企業活動b」に配当されている。		
授業到達目標/Course goals	この講義を通じて受講者は、以下の目標に到達することが期待される。(括弧内の数字は「全学モジュールの目標および授業編成の視点」(*)との対応関係を示す。) (1)経済分析に基づいて国際貿易や国際金融、経済発展のしくみを説明することができる。 [1,3,4,5,10,B] (2)市場経済における政府の役割を理解し、貿易政策や通貨政策の影響を分析できる。 [1,3,4,10,B,C] (3)授業のテーマと現実の経済問題や政策などを関連づけて議論し、その内容を発表できる。 [1,2,4,5,7,8,9,10,B,C,D] (*)「全学モジュールの目標および授業編成の視点」については、『全学モジュール科目案内』を参照すること。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	到達目標(1)(2)に対応してWeb上(LACS)で確認テストを実施する。 到達目標(3)に対応する成果物として授業中の演習・議論・発表など評価する。 確認テスト450点(30点×15回)、授業中の演習・議論・発表など450点(30点×15回)、授業への積極的な参加状況(LACS掲示板での議論、質疑応答を含む)100点の合計1000点のうち、600点以上を合格とする。 *不合格者(成績Dの学生)に対する「再試験」は実施しない。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	LACS掲載の資料(講義ビデオなど)などを用いて分析手法を学び、LACSの確認テストで理解度を確認する。必要に応じて復習課題に取り組んだり、LACS上の掲示板で質疑応答や議論を行う。標準的な受講生について、週8時間程度の授業外学習(予習・復習など)を要する。		
キーワード/Keywords	国際貿易, 比較優位, 貿易政策, 余剰分析, 国際金融取引, 貯蓄投資ギャップ, 為替レート, 経済発展, 貧困削減		

教科書・教材・参考書/Materials	特定の教科書を使用せず、LACSに資料を掲載する。また、必要に応じて授業中に教材や参考文献リストを配布する。 【参考書】 浦田秀次郎・小川英治・澤田康幸『はじめて学ぶ国際経済』, 有斐閣, 2011年。(ISBN: 978-4641124219)
受講要件(履修条件)/Prerequisites	とくになし。 ただし、現代経済と企業活動のモジュール 科目「経済活動と社会」または「経済政策と公共部門」を受講していると、授業の理解が進みやすいと考えられる。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/
学生へのメッセージ/Message for students	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ活動の円滑化のため、毎回の授業に積極的に参加すること。 ・授業中にデータ分析やウェブ接続のできるパソコン等を準備すること。 ・第1回の授業で、授業方法や内容の詳細について説明するので、必ず出席すること。 ・第1回の授業を欠席した履修希望者は、必ず担当教員に連絡すること。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
	*授業内容の<>内は浦田・小川・澤田(2011)の対応する章や節を示している。 **各回の授業内容は変更される場合もあり得る。
1(第1週)	ガイダンスとイントロダクション(1)
2(第1週)	ガイダンスとイントロダクション(2)
3(第2週)	なぜ貿易が行われるのか(1)<第1章(1.1-1.3)>
4(第2週)	なぜ貿易が行われるのか(2)<第1章(1.3-1.4)>
5(第3週)	なぜ政府は貿易に介入するのか(1)<第2章(2.1-2.2)>
6(第3週)	なぜ政府は貿易に介入するのか(2)<第2章(2.3-2.4)>
7(第4週)	どのように国際的に資金が流れるのか(1)<第5章(5.1-5.3)>
8(第4週)	どのように国際的に資金が流れるのか(2)<第5章(5.4-5.5)>
9(第5週)	為替レートはどのように決まるのか(1)<第6章(6.1-6.3)>
10(第5週)	為替レートはどのように決まるのか(2)<第6章(6.4)および応用>
11(第6週)	どのようにして為替レートを安定化させるのか(1)<第7章(7.1, 7.2)>
12(第6週)	どのようにして為替レートを安定化させるのか(2)<第7章(7.3)>
13(第7週)	なぜ豊かな国と貧しい国が存在するのか(1)<第9章(9.1, 9.2)>
14(第7週)	なぜ豊かな国と貧しい国が存在するのか(2)<第9章(9.3)>
15(第8週)	どのようにして貧困を削減すればよいのか<第10章>
16(第8週)	どのようにして開発援助を行えばよいのか<第11章>

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 木 / Thu 4
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2020/11/19		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200587011302	科目番号 / Course code	05870113
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12731_005		
授業科目名 / Course title	a2企業行動と戦略COC / Organizational Decision Making and Strategy		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	林 徹 / Hayashi Toru, 工藤 健 / Kudo Takeshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	林 徹 / Hayashi Toru		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	林 徹 / Hayashi Toru		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	thaya nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部本館627研究室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6368		
担当教員オフィスアワー/Office hours	開講時に説明します。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	MONOPOLYのゲーム体験を通じて、ルールのマスター、ゲームの全体像の把握、不動産取引・金融の基礎のマスター、土地・税制の歴史ならびに都市計画法等による不動産に対する各種規制、これらへの興味喚起を促す。受講生の関心に応じて長崎県内の特定地域を事例としてとりあげる。		
授業到達目標/Course goals	「自ら学び、考え、主張し、行動することができる。」「主体性をもって他者と協働できる。」これらのために、MONOPOLYをプレイヤーとしても銀行係としても紳士・淑女的に運営できる。ゲームの全体像、ルール、その趣旨を説明できる。不動産取引・金融の基礎を説明できる。土地・税制の歴史ならびに都市計画法等による不動産に対する各種規制を説明できる。長崎県内の特定地域の事例分析ができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ボードゲームMONOPOYのプレイヤーと銀行係の両方を体験させる。 F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	ゲームへの関与 (40%) , 筆記試験または口頭試問 (30%) , レポート課題 (30%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	各回、予習2時間と復習2時間を、以下について割いてください。LACS授業資料に掲げるリンク先サイト(不動産・開発事業関連、ハザードマップなどCOC関連)、公式ルール(英文)、日本語ルール、教科書の関連する箇所について、事前・事後に目を通すこと。		
キーワード/Keywords	MONOPOLY、不動産経営、資産運用、複式簿記、抵当権、処世術・交渉術、土地・税制、民法、長崎県		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書：林徹 (2019) 『モノポリーで学ぶビジネスの基礎 (第2版)』中央経済社。 参考書：Koury, Ken (2012) Monopoly Strategy, Lulu.com.		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	なし		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	不動産経営や開発事業に関心があればベストです。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	ガイダンス（教員紹介，受講者からの希望と受講者の時間割の確認，単位認定要件の確認），課題レポートの案内
2	デモンストレーション（ルールと流れの説明），グループ分け
3	ゲーム実践：予選1
4	ゲーム実践：予選2
5	ゲーム実践：予選3
6	ゲーム実践：予選4
7	ゲーム実践：決勝
8	ゲーム実践：順位決定戦
9	ルール、定石、交渉術等のマスター（和文・英文の文献使用）
10	課題レポートの報告会1
11	課題レポートの報告会2
12	課題レポートの報告会3
13	課題レポートの修正報告会
14	ルール、定石、交渉術等に関する筆記試験または口頭試問
15	ルール、定石、交渉術等に関する筆記試験のレビューまたは再試験
16	当クォーターの反省と今後の展望

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 木 / Thu 4
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2020/06/04		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200587012102	科目番号 / Course code	05870121
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12751_005		
授業科目名 / Course title	a2経営情報と会計情報 / Management and Accounting Information		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	小野 哲 / Ono Tetu, 工藤 健 / Kudo Takeshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	小野 哲 / Ono Tetu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	小野 哲 / Ono Tetu		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多・教・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	onotetsu nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部 (片淵キャンパス) 本館5階532研究室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6360		
担当教員オフィスアワー/Office hours	片淵キャンパス常勤のため授業の前か終了後。もしくはE-mail (onotetsu@nagasaki-u.ac.jp)にて適宜受け付け。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	ビジネスにおいては、お金の流れや会社の状態を把握することが重要です。そのために不可欠な会計の知識として、この授業ではまず財務3表(損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書)の基本的な中身について学びます。つぎに経営指標などの内容を理解したうえで、学生が任意に会社を選択し、財務諸表分析によって選択した会社の経営内容を診断します。		
授業到達目標/Course goals	この授業を通じて受講者は、以下の目標に到達することが期待されます(カッコ内の数字は「全学モジュールの目標および授業編成の視点との対応関係を示しています」)。 (1) 財務3表の基本的な内容を把握できる(2、5、8、10、B)。 (2) ベーシックな経営指標など会計を用いた技法を理解できる(2、5、8、10、B)。 (3) 実際の企業データを使って、企業のベーシックな財務諸表分析ができる(2、4、5、7、8、10、12、B、D)。 なお「全学モジュール目標および授業編成の視点」については、『全学モジュール科目案内』を参照してください。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	小テスト20点(4点×5回) + レポート課題80点 = 合計100点のうち60点以上を合格とします。なおレポート提出のためには、最低2/3以上の出席が必要となります。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	< 予習 > テキストの該当範囲について事前に読んでおくこと(2h)。 < 復習 > 授業内容および小テストを含む配布資料をもとに復習すること(2h)。		
キーワード / Keywords	財務3表、経営指標、財務諸表分析(経営分析)		
教科書・教材・参考書 / Materials	【教科書】 林 總 『会社の数字が面白いほどわかる「財務3表」入門』三笠書房(知的生き方文庫)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	特にありませんが、会社の経営に興味のある学生向きの内容です。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考（URL）/Remarks（URL）	財務3表は有価証券報告書等の開示種類に関する電子開示システム（EDINET： https://disclosure.edinet-fsa.go.jp/ ）で入手することができます。使い方はトップページの「種類検索」をクリックし、次画面の「提出者/発行者/ファンド」の欄に会社名を入力 実際の会社のデータを用いたレポート作成を課しますから、上記のEDINETや会社のHPを任意に選択し「株主のみなさんへ」とか「IR資料室」などのバナーをクリックし、その内容を見ておいてください。	
学生へのメッセージ/Message for students		
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
1回(4/9)	授業ガイダンス	F
2回(4/9)	会計の基本ー売上高、費用、利益、現金の流れの学習ー	F
3回ー4回(4/16)	財務3表ー損益計算書入門ー 第1回小テスト	F
5回ー6回(4/23)	財務3表ー貸借対照表入門ー 第2回小テスト	F
7回ー8回(4/30)	財務3表ー貸借対照表入門、キャッシュ・フロー計算書入門ー 第3回小テスト	F
9回ー10回(5/7)	会計不正ー利益操作についてー 経営指標についての学習ー総資産利益率、自己資本利益率ー	F
11回ー12回(5/14)	経営指標についての学習ー自己資本比率、流動比率、当座比率、固定比率、固定長期適合率、売上高増加率ー 第4回小テスト	F
13回ー14回(5/21)	ヤマダ電機の分析例 課題レポートの説明 第5回小テスト	F
15回(5/28)	課題レポートのプレゼンテーション及び提出	A B C D